

鈴鹿市立図書館 サービス推進方針

2019 年 3 月

鈴鹿市立図書館

目次

第1章 方針の策定に当たって

- 1 策定の背景と趣旨 1
- 2 策定の目的 1
- 3 方針の位置付け 2
- 4 方針の期間 2

第2章 現状と課題

- 1 図書館の概要 3
- 2 現状と課題 4

第3章 図書館のめざす姿

- 1 方針の基本目標 11

第4章 方針の具体的な取組 と指標 12

第5章 方針の推進に当たって 15

資料

- 1 平成30年度鈴鹿市立図書館利用者アンケート結果 17
- 2 平成30年度鈴鹿市立図書館事業参加者アンケート結果 26
- 3 配本・ふれあいライブラリー利用状況 28
- 用語解説 29
- 鈴鹿市立図書館協議会委員名簿 31



1 策定の背景と趣旨

鈴鹿市（以下「本市」という。）では、昭和 56 年に開館した本館を中心として、江島分館（平成 27 年運用開始）、市立公民館の図書室・図書コーナーにより、図書館ネットワークを構築し、図書館サービスに努めてきました。

平成 26 年には、市民が望む図書館サービスの提供を目指すべく「鈴鹿市立図書館サービス方針」と「鈴鹿市立図書館サービス方針実施計画」を策定し、様々な取組を行ってきました。

一方、図書館サービスについて、国は、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成 24 年 12 月 19 日文部科学省告示第 172 号。以下「望ましい基準」とする。）において、図書館事業の基本的な運営方針の策定と、それを踏まえた適切な指標選定や目標設定に努めることを示しています。

このような中、図書館を取り巻く状況は、様々な社会情勢の変化とともに、利用者一人ひとりのニーズが多様化し、幅広いサービスの提供、より高度な専門性が求められるなど、刻々と変化を続けています。

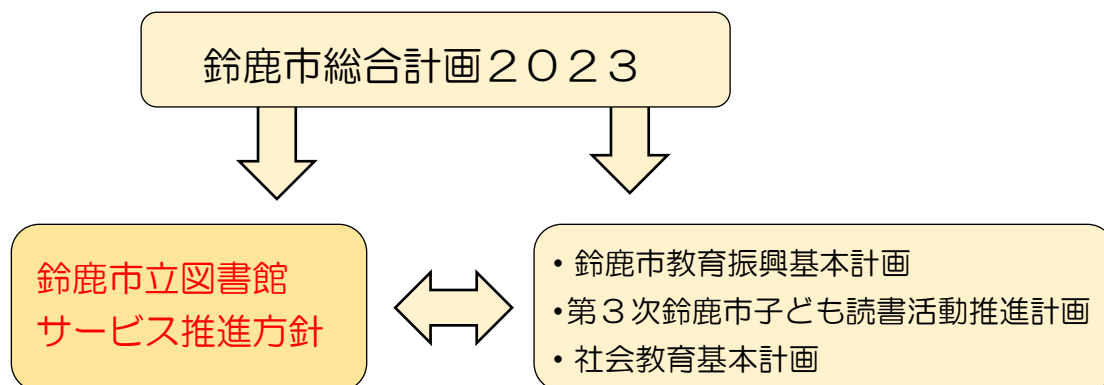
こうした社会的な動向や、本市の図書館サービスの状況を踏まえ、平成 28 年 3 月に策定した、本市の最上位計画である「鈴鹿市総合計画 2023」において、めざすべき都市の状態 07 として掲げている「人と文化を育み 心豊かに過ごしていること」の実現に向け、「鈴鹿市立図書館サービス推進方針」（以下、「本方針」という。）を策定しました。

2 策定の目的

本方針は、平成 28 年 3 月に策定した「鈴鹿市総合計画 2023」に示す取組の方向性や目標の実現を図り、より一層図書館が地域の情報拠点、生涯学習の拠点施設としての役割を果たすため、平成 31 年 3 月に期間満了を迎える「サービス方針」と「実施計画」を一体的に策定したものであり、望ましい基準における運営方針及び指標、目標を包含したものです。

3 方針の位置付け

本方針は、「鈴鹿市総合計画2023」をはじめ「鈴鹿市教育振興基本計画」「第3次鈴鹿市子ども読書活動推進計画」「社会教育基本計画」その他の関連する計画と整合性を図りながら、図書館運営の基本的な方向と具体的な方策を明らかにし、関連する施策を体系的に実施するためのものです。



4 方針の期間

本方針の期間は、2019年度から2023年度までの5年間とします。なお、社会情勢の変化や、方針の進捗状況などによっては、必要に応じて計画の見直しを行います。

第2章

現状と課題

1 図書館の概要

	本 館	江 島 分 館
所 在 地	鈴鹿市飯野寺家町 812 番地	鈴鹿市中江島町 3 番 27 号
開館年月日	昭和 56 年 4 月 1 日	平成 27 年 4 月 1 日
開 館 時 間	・ 月曜日～木曜日：9 時～19 時 ・ 日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日：9 時～17 時	・ 開館全日 9 時～17 時
休 館 日	・ 金曜日 ・ 第 1 火曜日（1 月を除く） ・ 12 月 29 日～翌年 1 月 4 日 ・ 特別整理期間（7 日以内の期間で教育委員会が定める期間）	
貸出し 期間・冊数	貸出し期間は 14 日以内。 貸出し冊数は貸出し館（本館，江島分館，配本場所*）ごとに一人につき，5 冊以内。	

※配本場所とは，市立公民館 30 か所，ふれあいセンター及び農村環境改善センターの図書室又は図書コーナーのこと。



鈴鹿市立図書館



鈴鹿市立図書館 江島分館

2 現状と課題

(1) 鈴鹿市立図書館サービス方針実施計画進行状況 (★次期計画継続指標)

サービス方針を実効あるものとして総合的に推進していくため、実施計画において成果指標を設定し、その達成に向け取り組んできました。

◆方針1 情報の拠点施設としての情報資料を蓄積します。

指 標 項 目	現状値 (平成 25 年度末)	平成 29 年度末	目標値 (平成 30 年度末)
年間貸出冊数	639,341 冊	670,258 冊	750,000 冊

- ・基本収集方針や購入図書選書基準に沿って、図書資料の充実を図っています。しかし、「年間貸出冊数」は目標値には届いていない状況です。
- ・新聞、雑誌などの逐次刊行物については、資料的に価値の高い雑誌や、地域性を考慮した地方紙や地方版を積極的に収集・保存しています。

◆方針2 利用者のニーズに合った図書館サービスの充実に取り組みます。

指 標 項 目	現状値 (平成 25 年度末)	平成 29 年度末	目標値 (平成 30 年度末)
行事等への参加者数	1,890 人	6,892 人	2,800 人
大活字本の貸出冊数	1,733 冊	2,495 冊	2,400 冊

★

- ・平成 28 年 6 月から、第 3 火曜日と 12 月 28 日の休館日を廃止し、開館日数を増やしています。しかし、利用者のライフサイクルの変化により、様々なサービスの充実が求められています。
- ・保健センターで実施の 1 歳 6 か月児の健康診査に出向いて、読み聞かせを行い、年齢に応じた絵本の案内や図書館事業の PR を行っています。
- ・大活字本やシニア向け紙芝居など、図書資料の充実を図り、高齢者施設などへ案内を送付し、貸し出しにつなげています。
- ・視覚障がい者への視聴覚資料（点字図書、録音図書（DAISY））の郵送貸出など、認知度の低いサービスがあります。



来て見て学んで 上原動物園(本館)

◆方針3 学びと課題解決のための支援を行います。

指 標 項 目	現状値 (平成 25 年度末)	平成 29 年度末	目標値 (平成 30 年度末)
レファレンスの利用件数	297 件	934 件	450 件
学習室等の利用人数 (学習室・視聴覚室・PC コーナー・会議室)	14,815 人	15,977 人	16,000 人

★

- ・「レファレンスの利用件数」では、利用者からの質問内容やその対応について順次データ化し、職員間で情報共有を図っており、目標値を大きく上回っています。
- ・学習室においては、毎年 11,000 人を越える利用があり、満席時には視聴覚室を開放し対応しています。しかし、利用が多い夏休みには、視聴覚室でのイベント開催と重なり開放が困難な状況になっています。

◆方針4 図書館施設の充実と図書館サービスを向上させます。

指 標 項 目	現状値 (平成 25 年度末)	平成 29 年度末	目標値 (平成 30 年度末)
図書資料の満足度	76%	65.64%	80%以上
各施設の活用回数	145 回	435 回	160 回

★

- ・リクエスト受付や利用者アンケートを行い、利用者ニーズの把握に努めています。しかし、専門書の充実、多岐に渡る趣味の本など、多様化するニーズに対応しきれていない状況になっています。また、江島分館においては、児童書の他に一般書や雑誌のニーズも増えています。
- ・ロビー展示など利用状況に応じて施設の有効活用を行っており、利用者から高評価を得ています。
- ・江島分館の利用も増え、インターネット予約など、利用者のニーズに沿った図書館システムの充実が求められています。

◆方針5 市民との協働や関係機関との連携による開かれた図書館づくりを目指します。

指 標 項 目	現状値 (平成 25 年度末)	平成 29 年度末	目標値 (平成 30 年度末)
図書館ボランティアの登録者数	84 人	115 人	100 人
団体貸出による貸出冊数	5,284 冊	8,047 冊	6,800 冊

★

- ・読み聞かせ講座、図書修理ボランティア講座を行っており、図書館ボランティアの登録者数は増加しています。
- ・各施設に啓発を行い、団体貸出登録の利用拡大を図っています。(各施設：市内教育施設、高齢者施設、放課後児童クラブや市民グループなど)
- ・三重県立図書館を中心館として県内公共図書館及び愛知県、岐阜県、富山県の公共図書館との相互貸借について連携を図っています。
- ・鈴鹿地区図書館相互協力会議を開催し、市内高等教育機関との連携について協議しています。

◆方針6 柔軟で弾力性のある運営体制を構築します。

指 標 項 目	現状値 (平成 25 年度末)	平成 29 年度末	目標値 (平成 30 年度末)
職員一人当たりの研修参加回数	1.5 回	5.9 回	2 回以上

★

- ・図書館サービスを効率的に提供するため、図書館業務の民間委託について、鈴鹿市立図書館協議会に諮りながら検討していきます。
- ・危機管理に対応する訓練や研修をはじめ、接遇研修、認知症サポーター養成講座などを図書館職員の研修として実施しています。近年では自然災害とともに人的トラブルによる様々な危機対応が求められています。

(2) 鈴鹿市立図書館協議会評価

鈴鹿市立図書館協議会は毎年開催し、事業内容、利用統計などを報告しています。

協議会からは、報告内容や成果指標の推移などを協議していただき、各方針の取組は概ね適切であると評価されています。

また、次の事項については、一層の推進を図ることが提言されています。

- 子どもへの読書を推進すること。
- ボランティア活動や施設利用について、学校図書館と連携すること。
- 分館的施設を整備し、図書館サービス拡大を図ること。(特に西部地域)
- 図書館サービスの周知徹底を図ること。(特に視聴覚資料について)
- 三重県立図書館と連携を図ること。(電子書籍、相互貸借)
- 危機管理体制の構築をすること。
- 利用者の利便性を考え、施設整備に努めること。
- 図書館運営における民間活用の方法についても、調査、検討を継続すること。



ボランティアグループによる
おはなし会(本館)



木工教室 本立て作り(本館)

(3) 蔵書冊数の推移（本館）

	平成 25 年度末	平成 26 年度末	平成 27 年度末	平成 28 年度末	平成 29 年度末
一般	204, 686	205, 487	206, 134	206, 647	206, 587
児童	87, 942	87, 758	80, 921	81, 004	82, 951
参考	15, 342	15, 624	15, 835	15, 992	16, 157
郷土	17, 999	18, 377	18, 666	18, 999	19, 319
大活字	2, 420	2, 510	2, 648	2, 766	2, 902
点字	3, 251	3, 251	3, 263	3, 276	3, 088
録音	2, 250	2, 505	2, 231	2, 229	2, 274
視聴覚			389	549	710
雑誌	8, 537	8, 474	7, 381	8, 565	8, 648
合計	342, 427	343, 986	337, 468	340, 027	342, 636

（江島分館）



	平成 27 年度末	平成 28 年度末	平成 29 年度末
一般	1, 314	1, 853	2, 197
児童	8, 846	10, 274	10, 954
郷土	2	3	3
雑誌			12
合計	10, 162	12, 130	13, 166

- ・図書資料については、書架、書庫の収納能力に合わせ、有効に保存し、計画的な蔵書の管理、補強に努めています。中でも、郷土資料や、大活字本、視聴覚資料の充実を進めています。しかし、その一方では、書架や書庫のスペースが不足しており、書庫などの環境を整備する必要があります。
- ・江島分館は、平成 27 年度から市立図書館分館として運営を開始しています。運営前から主に幼児・児童を対象としたサービスを実施していた経緯から、引き続き児童図書を充実させ、現在その所蔵は江島分館分の約 83%を占めています。今後は東部地域のサービスポイントの核として、利用者のニーズの把握に努めるとともに、地域サービスを充実させるための蔵書管理、図書館システムの改修など、対応していく必要があります。



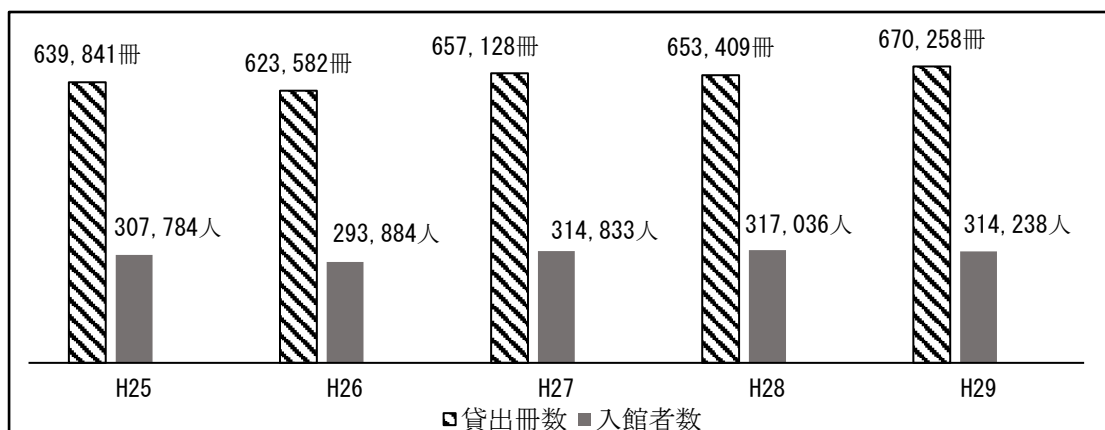
電車すきな子 江島へあつまれ！！（江島分館）

おりがみ教室（江島分館）

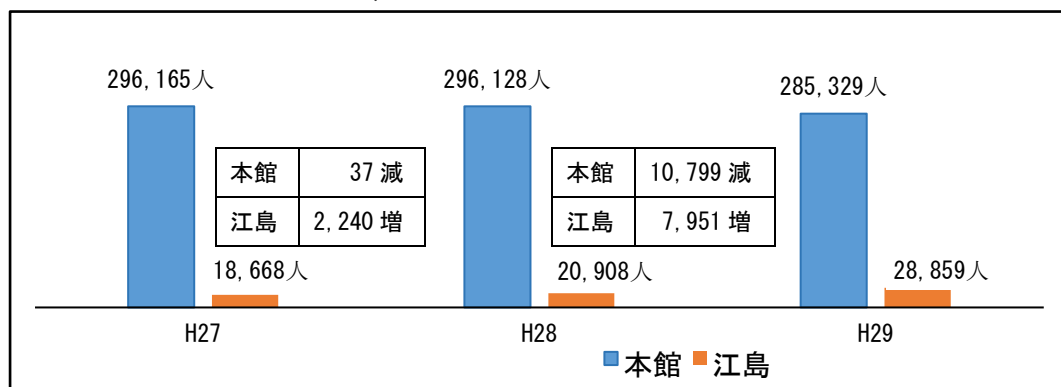
(4) 利用状況

	平成 25 年度末	平成 26 年度末	平成 27 年度末	平成 28 年度末	平成 29 年度末
貸出冊数（冊）	639,841	623,582	657,128	653,409	670,258
内江島分館	—	—	52,827	66,663	89,903
入館者数（人）	307,784	293,884	314,833	317,036	314,238
内江島分館	—	—	18,668	20,908	28,859
市民一人の年間 貸出冊数（冊）	3.18	3.11	3.28	3.26	3.34
開館日数（日）	276	276	273	281	290
登録者数（人）	59,579	62,781	66,475	69,697	50,840*

※未利用登録者整理作業の実施により登録者数が減少となっています。

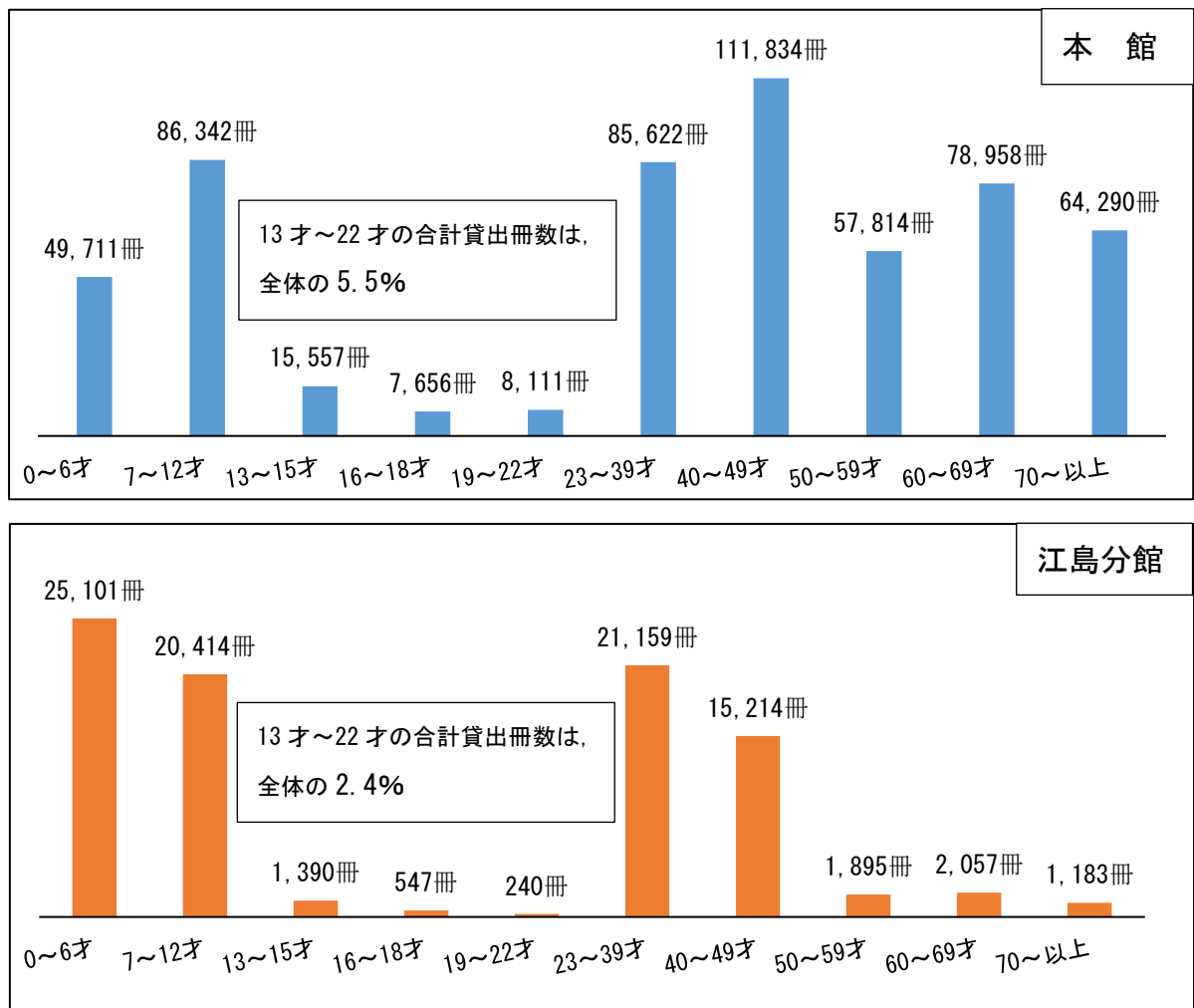


入館者数内訳



- ・合計貸出冊数は、江島分館が開館した平成 27 年度で増え、さらに平成 29 年度には、全館で約 3 万冊増加しています。
- ・合計入館者数では、ボランティア団体による読み聞かせをはじめ、新規利用者獲得のための図書館利用活性化事業（体験型謎解きイベント、鉄道おもちゃ展示など）を積極的に行っています。事業の充実と、イベント参加だけに留まらず、図書資料の貸出につながる工夫をしていく必要があります。
- ・本館、江島分館のそれぞれの数値を見ると、江島分館は開館以降、利用者、貸出冊数とも大きく増加していますが、本館では、江島分館の増加分以上に減少となっており、利用離れが進まないよう手だてを講じる必要があります。

年齢別貸出冊数（平成 29 年度：団体登録分，公民館貸出簿分除く）



- ・全国的に若年層の活字離れ，読書離れが指摘されていますが，本市においても同様の傾向が生じています。若年層が読書に親しむための環境を，学校，家庭，地域などと連携し，整備する必要があります。

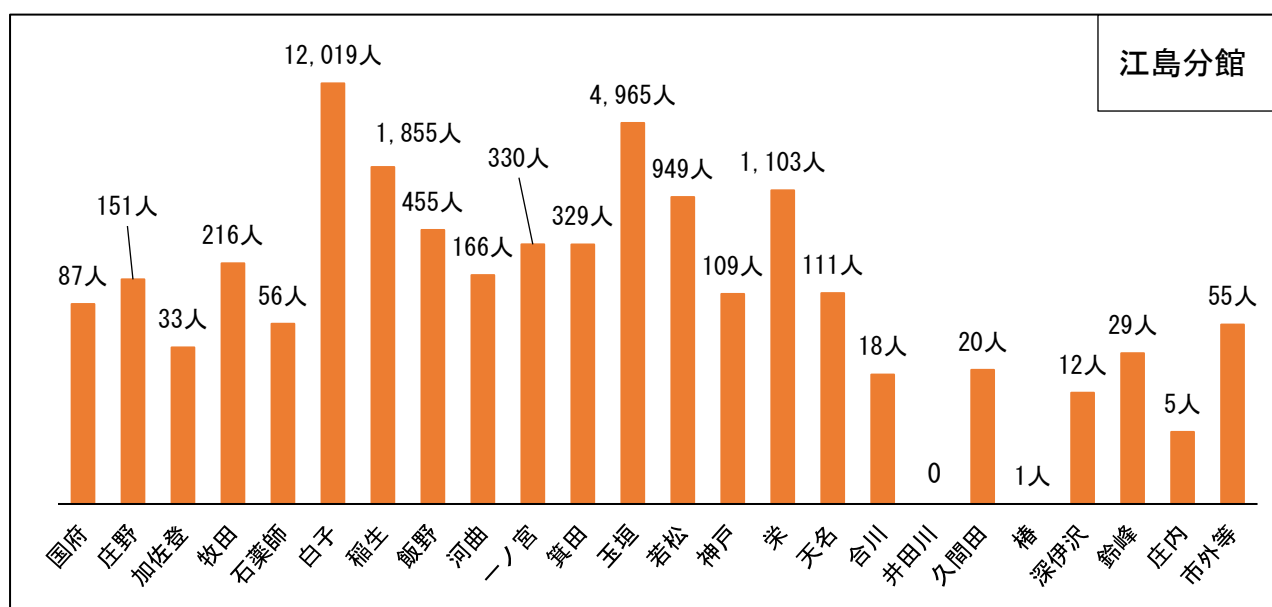
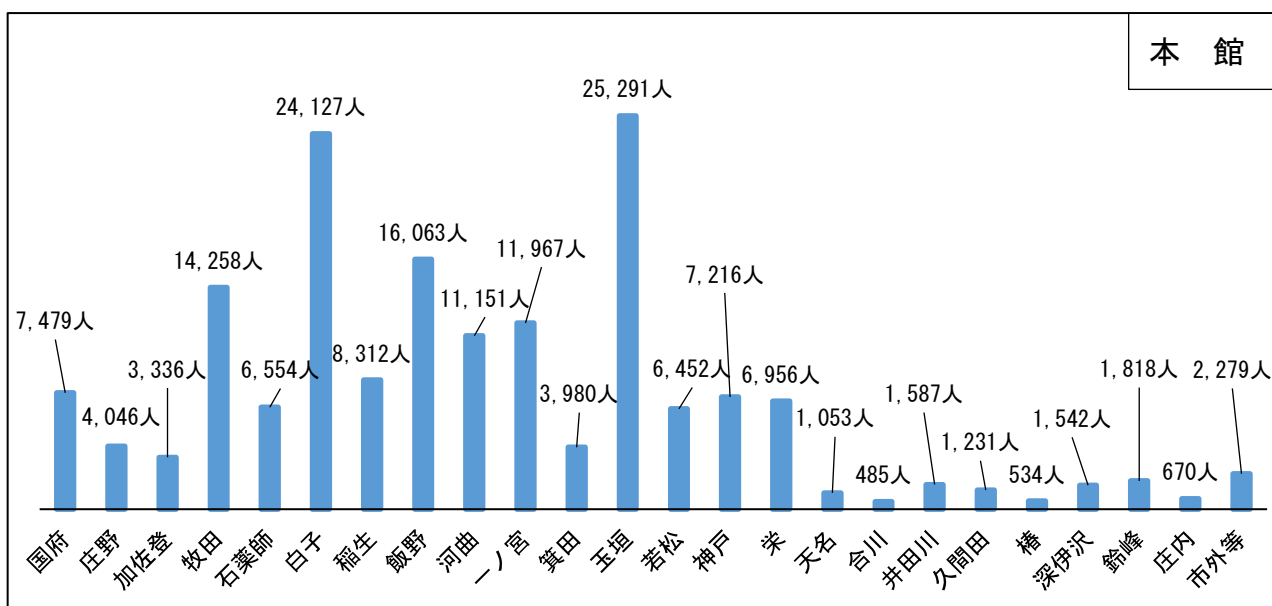


体験型謎解きイベント第 2 弾
「鏡の国のアリス×鈴鹿市立図書館」（本館）

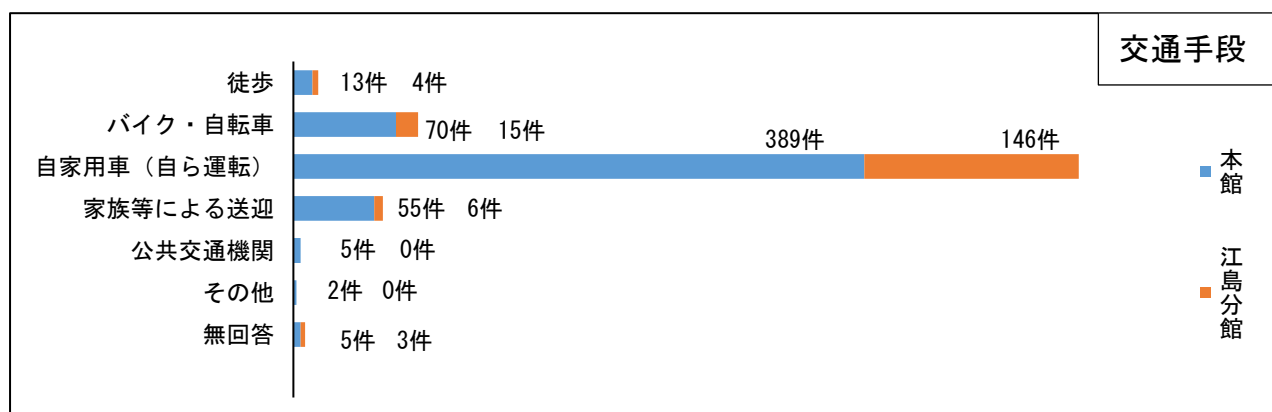


チラシ

地区別貸出者数（平成 29 年度：団体登録分，公民館貸出簿分除く）



- ・江島分館においては，西部地域からの利用もありますが，さらに住民への利用促進を図る必要があります。また，利用者アンケートの結果から，来館への交通手段は自家用自動車が多い状況ですが，高齢化と共に交通弱者も増加するため，「配本・ふれあいライブラリー」など地域サービスや障がい者サービスの充実を図る必要があります。



1 方針の基本目標

図書館は、「知りたい」「学びたい」という気持ちに応え、日々の暮らしに寄り添い、日常生活における様々な課題を解決するための図書資料や情報を提供します。

また、鈴鹿市総合計画2023に基づき、「人と文化を育み、心豊かに過ごしていること」をめざすために、市民が地域の芸能を含む、芸術や文化、そして生涯学習などの活動を通して、知識や教養を高めることにより、市民生活と地域社会におけるゆとりや豊かさが実感できるようサービスを提供します。

本方針に基づき各施策に取り組みながら、常に改善とチャレンジする意識を持ち、各教育機関や他の公共施設、さらには図書館を支えていただいている市民や地域、ボランティア団体などの方々と連携、協力することで、より充実した図書館サービスの推進をめざします。

基本目標 自ら学び、広げる文化と生涯学習活動の推進

～ 本と人と地域をつなぐ図書館 ～

基本目標を実現するため、これまでの取組状況を踏まえ、成果及び課題の整理を行い、次の5つの施策を掲げ取り組みます。

施策1：情報資料を蓄積し、学びと課題解決を支援します。

施策2：誰もが読書に親しみ、楽しむ機会を提供します。

施策3：郷土の歴史や文化を大切にします。

施策4：市民や関係団体と連携します。

施策5：居心地の良い環境を提供します。



第4章

方針の具体的な取組と指標

施策1：情報資料を蓄積し、学びと課題解決を支援します。

図書館は、多様化するニーズへの対応を図りながら、蔵書管理を行い、新たな発見、楽しみにつながる学びを支援します。

(★は重点項目とし、指標を掲げ取り組みます。)

取組1 ★①	基本収集方針に基づき、計画的な図書資料の収集を行い蔵書の確保と適正な管理を行います。
取組2 ★①	除籍資料のリサイクルなど、図書資料の効率的な活用と円滑な利用の推進を図ります。
取組3	行政資料のデータベース化をはじめ、電子書籍の活用などについてさらに情報収集し、検討を行います。
取組4	利用者に対し、課題解決の支援や情報提供が的確にできるよう、レファレンスサービスの充実を行います。
取組5	利用者自らがスムーズに検索などができるよう、パスファインダーや、事例集を作成します。

★指標項目		現状値（2017年度）		目標値（2023年度）
①	蔵書数の充実	355,802冊		365,000冊

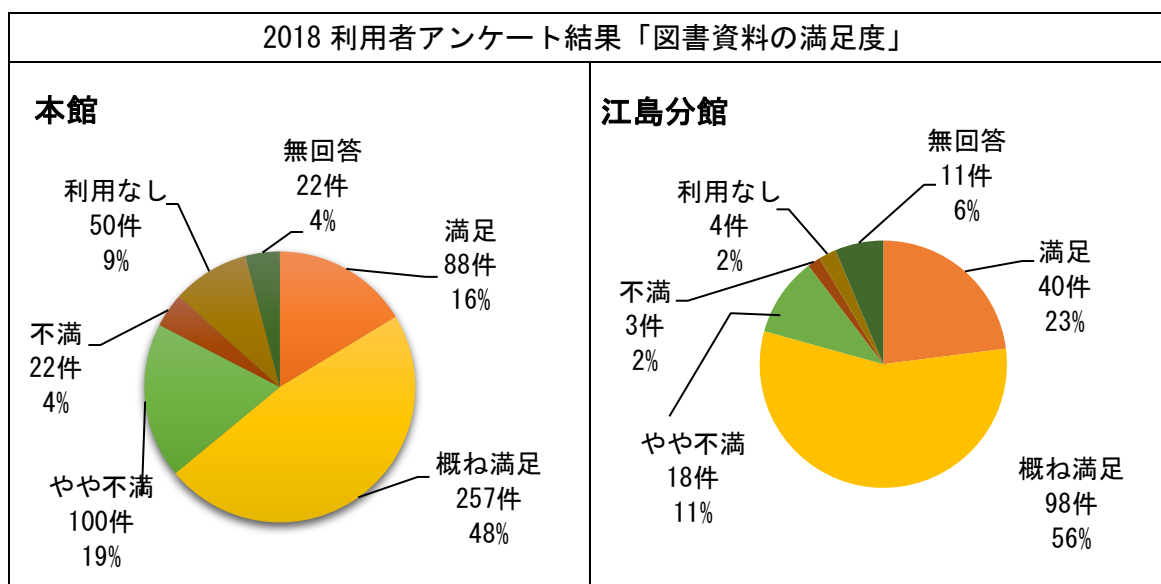
施策2：誰もが読書に親しみ、楽しむ機会を提供します。

図書館は、誰もが利用しやすい、学びや交流の場を提供します。

(★は重点項目とし、指標を掲げ取り組みます。)

取組1	多様化する市民ニーズを把握するため、窓口や利用者アンケート、鈴鹿市立図書館協議会、ボランティア交流会など、様々な視点からの意見を収集します。
取組2 ★②～⑦	乳幼児から高齢者のあらゆる年齢層へのサービスをはじめ、障がい者、外国人、さらには来館困難な方へのサービスなど、誰もが利用しやすいサービスの充実を図ります。
取組3 ★②～⑦	図書資料への関心を促すため、テーマコーナーなどを充実させます。
取組4 ★②～⑦	図書館ホームページやSNSなどを使用し、有効な情報発信を行います。
取組5 ★②⑥⑦	市立公民館などにおける配本やふれあいライブラリーなどの地域サービスと江島分館における予約・リクエストサービスを充実させます。

★指標項目		現状値（2017 年度）		目標値（2023 年度）
②	年間来館者数	314,238 人	➡	338,000 人
③	市民一人当たりの貸出冊数	3.34 冊		3.8 冊
④	学習室など利用者数	15,977 人		16,500 人
⑤	大活字本貸出冊数	2,495 冊		3,100 冊
⑥	配本・ふれあいライブラリー一人当たりの貸出冊数	2.8 冊		3.0 冊
⑦	図書資料の満足度 ・利用者アンケート ・事業アンケート	(2018 年度) 本館 64% 江島分館 79% 事業 71% (全事業平均)		両館 80%



施策 3：郷土の歴史や文化を大切にします。

図書館は、先人の残した郷土資料を通じて、地域の文化の継承や郷土愛が育まれるよう支援し、また、地域資源、地域の魅力を知る場を提供します。

（★は重点項目とし、指標を掲げ取り組みます。）

取組 1	郷土資料など、文化施設との連携を行います。
取組 2 ★⑧	所蔵の郷土資料を活用し郷土を発信します。

★指標項目		現状値（2017 年度）		目標値（2023 年度）
⑧	郷土資料などを活用した取組又は支援・発信	5 件	➡	10 件

施策 4：市民や関係団体と連携します。

図書館は、人と人との交流を生み出し、他者との連携や社会参画につなげます。

(★は重点項目とし、指標を掲げ取り組みます。)

取組 1 ★⑨	ボランティア団体などの活動を支援し、交流を図ります。
取組 2 ★⑨	図書館ボランティアの人材育成を図るため、ボランティア育成講座などの充実に努めます。
取組 3 ★⑩	市内小中学校、高等学校及び高等教育機関における学校図書館などとの連携を図ります。
取組 4	相互貸借など、他の図書館との連携を図ります。
取組 5	市立公民館などの図書資料の充実に努め、地域の交流、生涯学習を支援します。
取組 6	中高生の職場体験や教職員の社会体験活動の受け入れを積極的に行います。
取組 7	自主財源の確保とスポンサーに地域貢献の機会を提供するための「雑誌スポンサー制度」を充実させます。

★指標項目		現状値（2017 年度）		目標値（2023 年度）
⑨	図書館ボランティアの登録者数	115 人		150 人
⑩	市内教育機関との交流件数	1 回		5 回

施策 5：居心地の良い環境を提供します。

図書館は、環境整備に努め、一人ひとりの大切な場を提供します。

(★は重点項目とし、指標を掲げ取り組みます。)

取組 1	施設の長寿命化を図り、利用者が使いやすい施設整備を計画的に行います。
取組 2	施設の多目的利用を図り、スペースの有効利用に努めます。
取組 3 ★⑪	専門研修の参加など、職員の資質向上（接客能力、専門知識）を図ります。
取組 4 ★⑪	自然災害や火災のほか、盗難、迷惑行為など、危機管理に対応できるよう努めます。
取組 5	柔軟性や弾力性のある運営体制の構築のための調査、検討を行います。

★指標項目		現状値（2017 年度）		目標値（2023 年度）
⑪	職員一人当たりの研修（危機対応訓練含む）の参加回数	5.9 回		7 回

第5章

方針の推進に当たって

本方針の各施策に掲げる5年後のめざす姿と数値目標の実現を図るため、具体的な取組を行うとともに、各年度における事業の進捗状況について図書館による内部評価を行い、鈴鹿市立図書館協議会への報告を行い外部評価を受けます。

これらの評価を参考に、PDCAサイクルによる取組を進め、鈴鹿市総合計画2023の終了年度にあわせ、方針の実現を図ります。

また、本方針を推進し、図書館運営の充実に当たっては、行政だけでは十分に対応できないところがあります。

現在、図書館では、図書修理、読み聞かせ、録音・点字図書作成、書架整理など、様々なボランティア活動が行われています。さらに、ボランティアの人材育成を充実させることで図書館だけでなく、地域や学校図書館へのボランティア活動にも繋がっており、ボランティアの皆さんとの連携や協力は不可欠となっています。

このようなことから「自ら学び、広げる文化と生涯学習活動の推進」を実現するために、できるだけ多くの声を収集し、目標の実現を図っていきます。



読み聞かせボランティアの活動



図書修理ボランティアの活動



図書修理ボランティア講座

資 料

- 1 平成 30 年度鈴鹿市立図書館利用者アンケート結果
- 2 平成 30 年度鈴鹿市立図書館事業参加者アンケート結果
- 3 配本・ふれあいライブラリー利用状況

＝用語解説（50 音順）＝

＝鈴鹿市立図書館協議会委員名簿＝

1 平成 30 年度鈴鹿市立図書館利用者アンケート結果

実施日：平成 30 年 8 月 13 日（月）～9 月 2 日（日）

実施場所：本館・江島分館（両館設置，利用者配付）

回答者数：713 件

本館 539 件（男性 229 件・女性 307 件・無回答 3 件）

江島分館 174 件（男性 28 件・女性 144 件・無回答 2 件）



アンケート設問にある館内展示の紹介



月別テーマコーナー



ボランティア団体による夏休みロビー展示



児童ミニコーナー



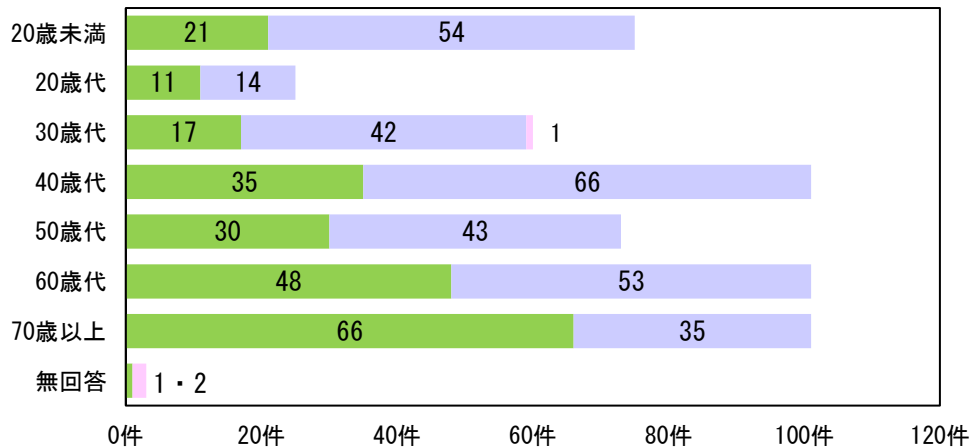
ティーンズコーナー

本館（539 件）



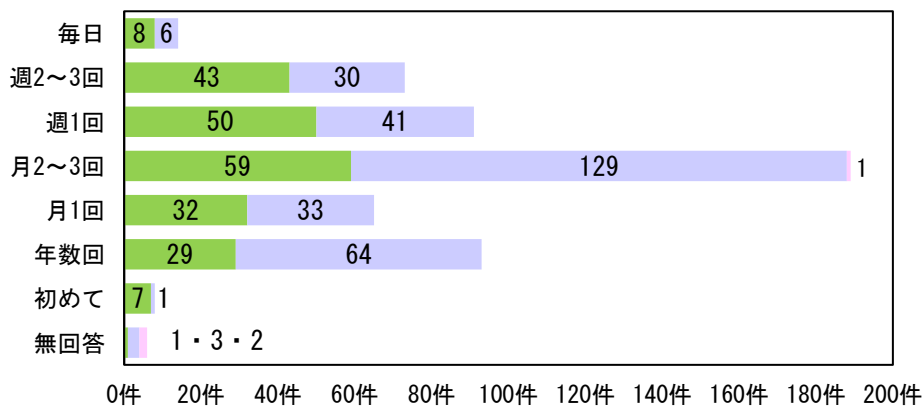
アンケート回答者内訳

■ 男性 ■ 女性 ■ 不明

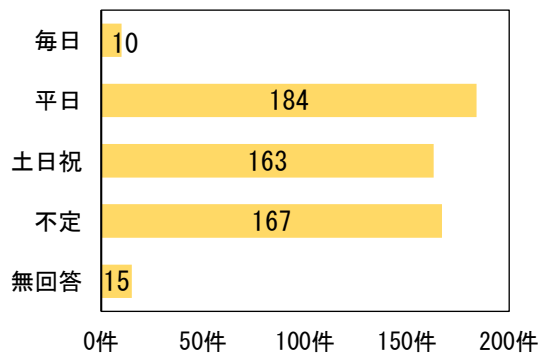


利用回数

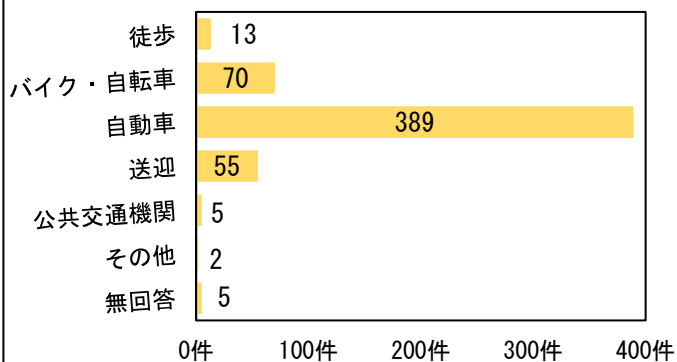
■ 男性 ■ 女性 ■ 不明

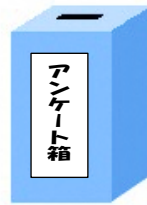


利用日

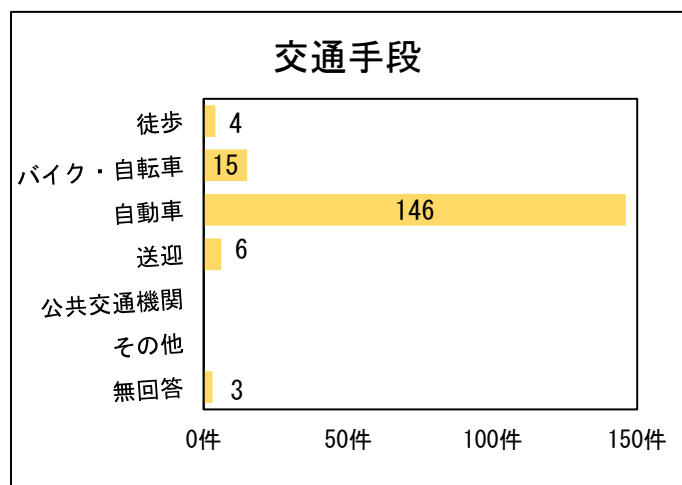
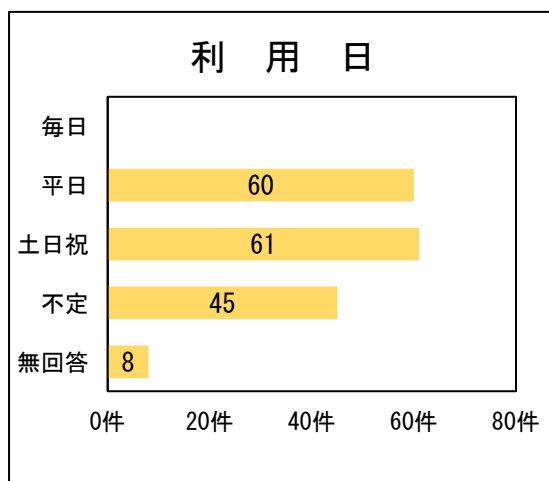
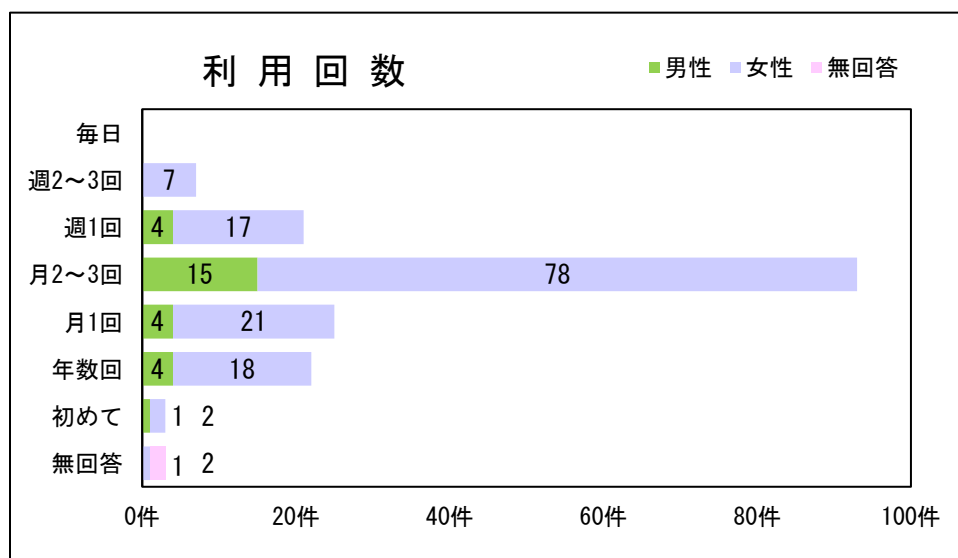
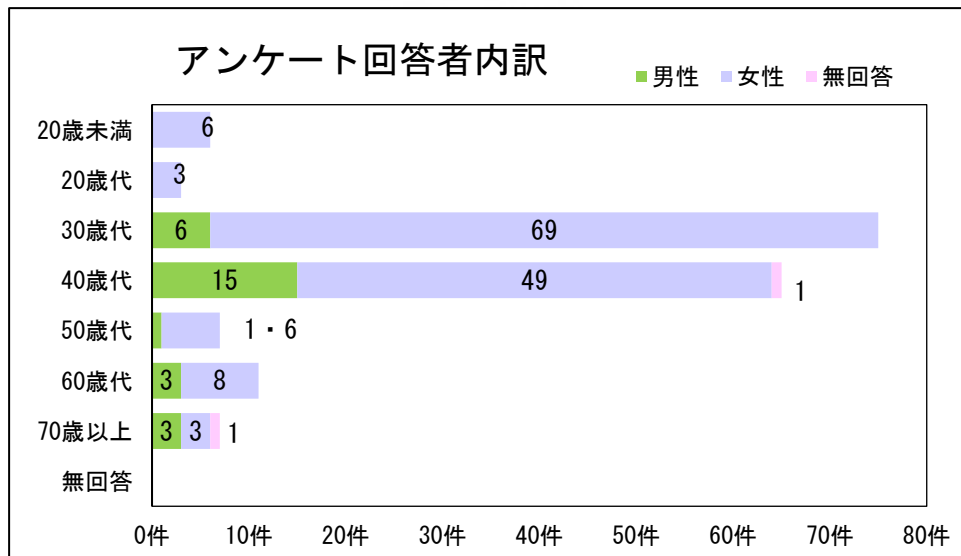


交通手段



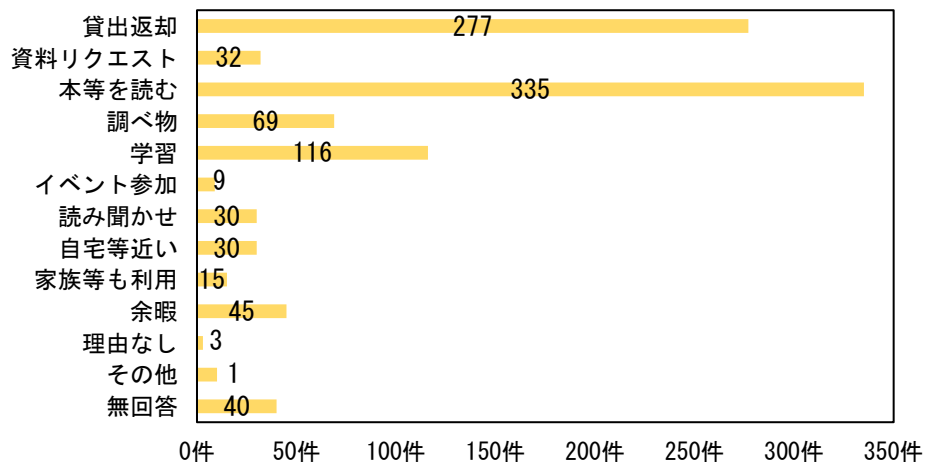


江島分館（174 件）

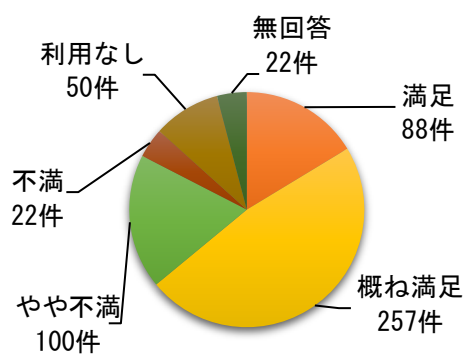


本館

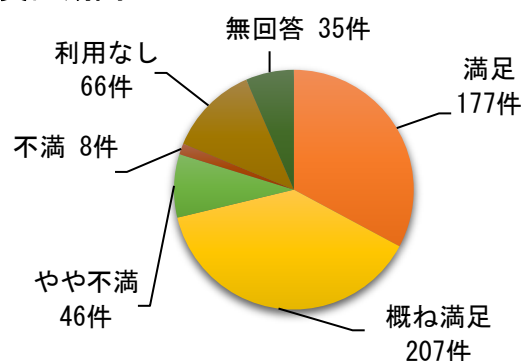
利用理由



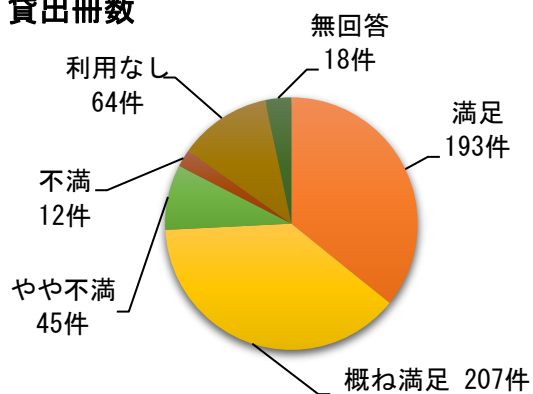
図書資料の充実



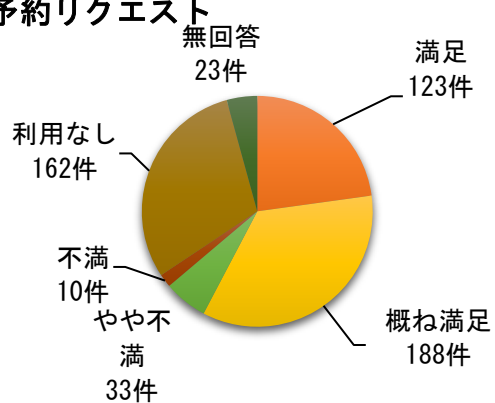
貸出期間



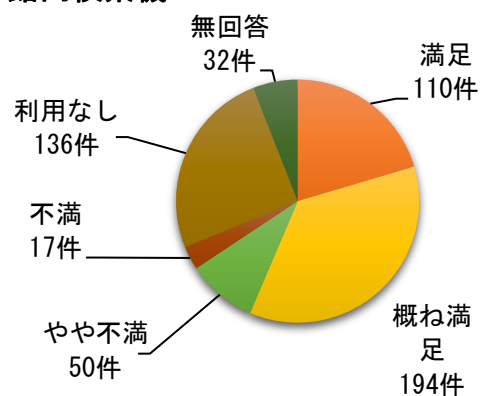
貸出冊数



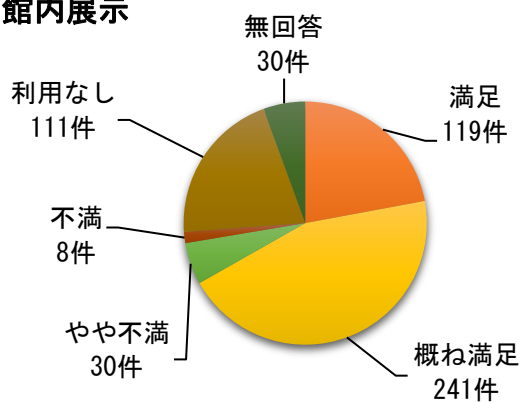
予約リクエスト



館内検索機

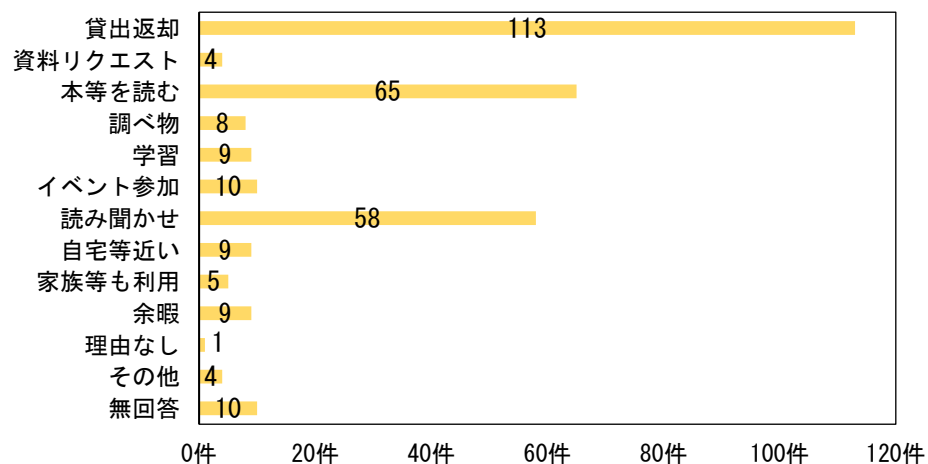


館内展示

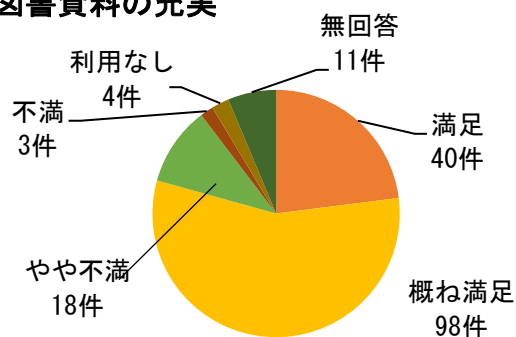


利用理由

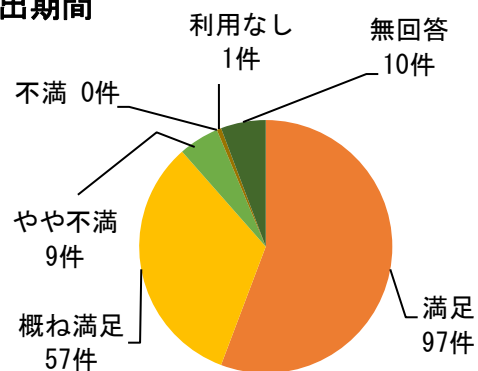
江島分館



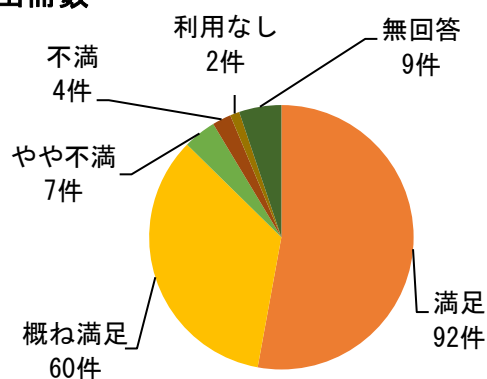
図書資料の充実



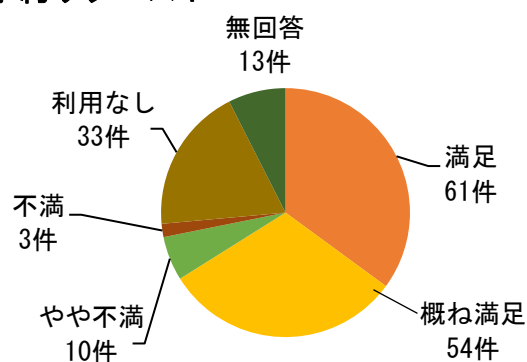
貸出期間



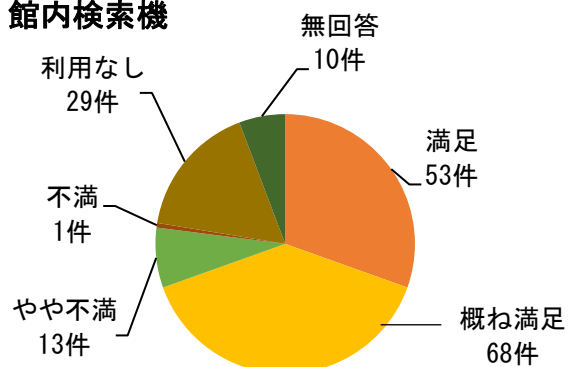
貸出冊数



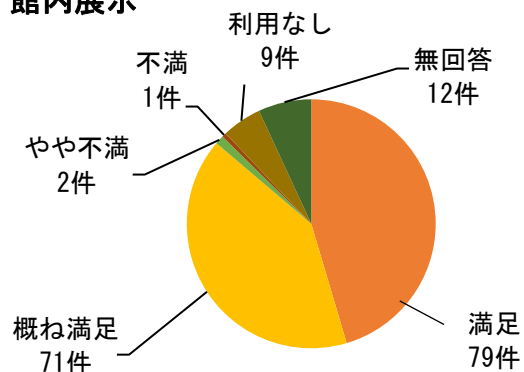
予約リクエスト



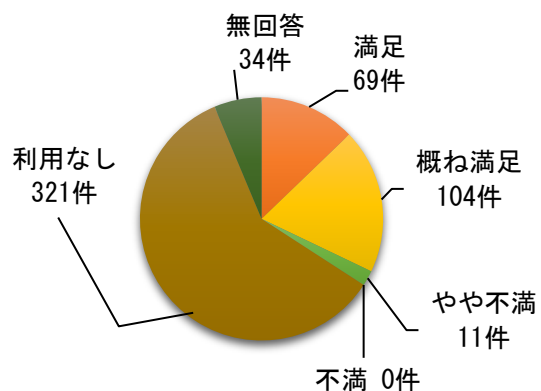
館内検索機



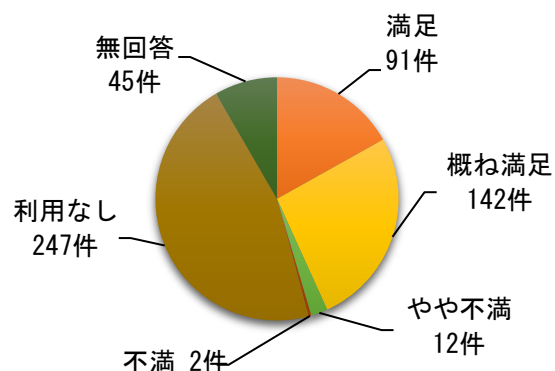
館内展示



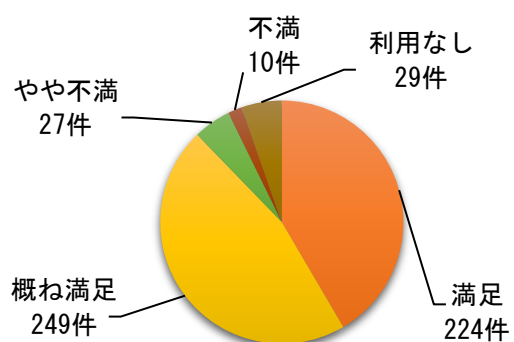
館内イベント



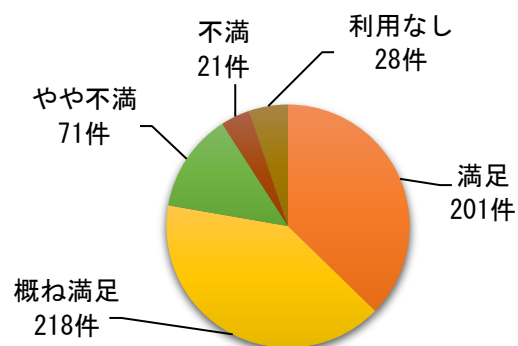
レファレンスサービス



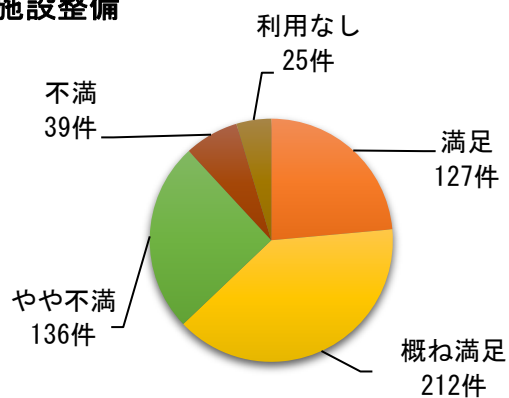
開館日数



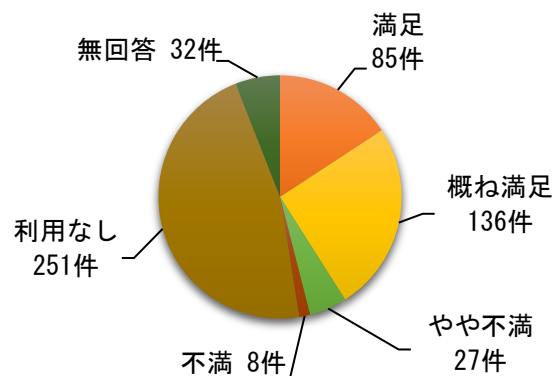
開館時間



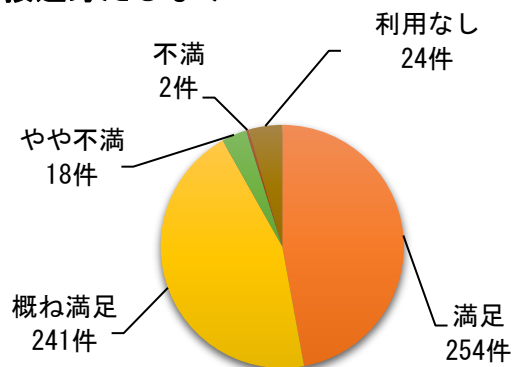
施設整備



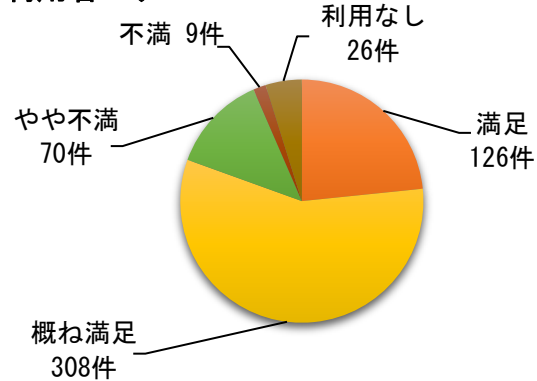
ホームページ



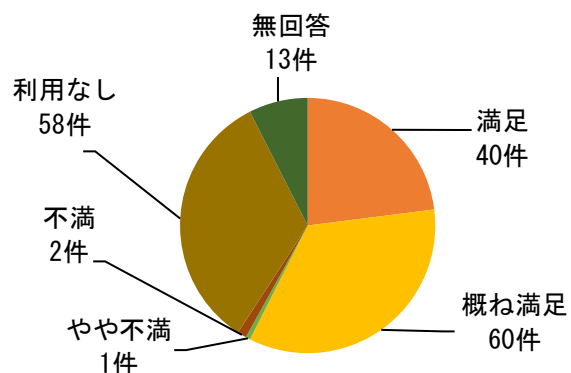
接遇身だしなみ



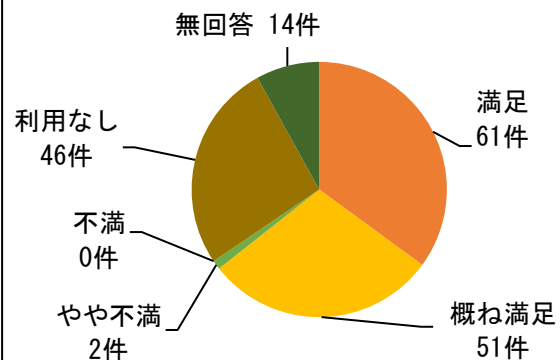
利用者マナー



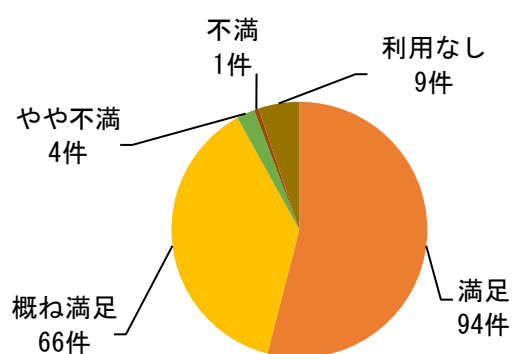
館内イベント



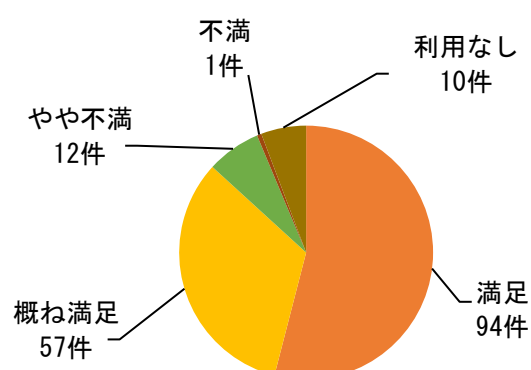
レファレンスサービス



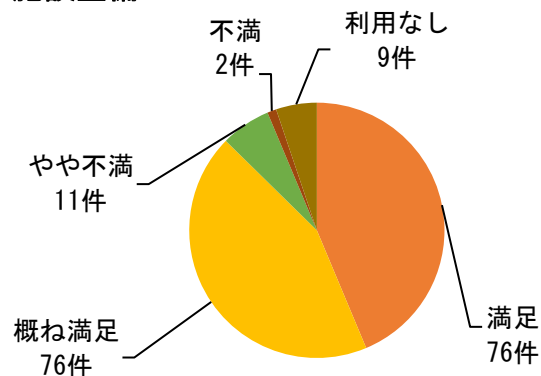
開館日数



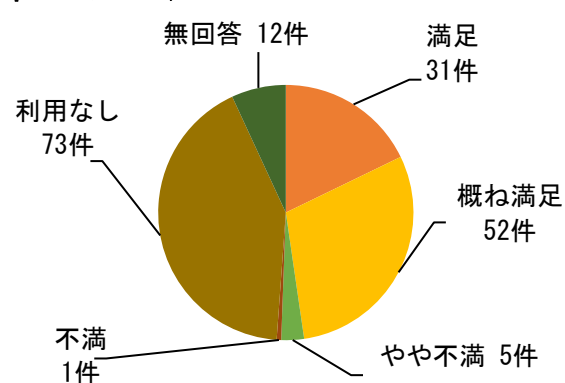
開館時間



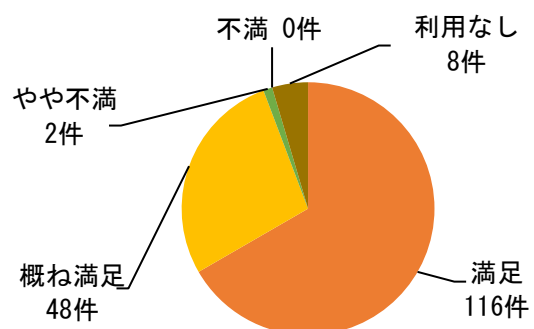
施設整備



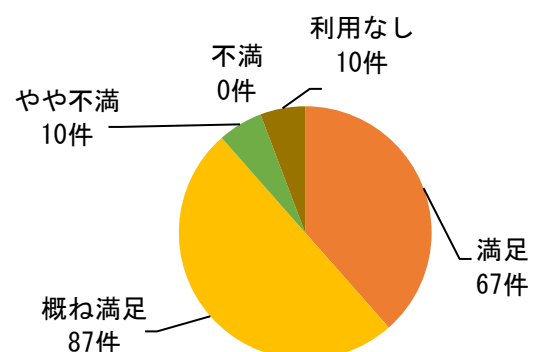
ホームページ



接遇身だしなみ



利用者マナー



本 館

図書館が優先して充実させるべきサービスや取組について、下記 7 ブロックのサービス・取組と、それに関連する具体的な取組内容について、優先順に選択し、順位ごとにポイント付けした結果を表しています。
(1 位 : 5P, 2 位 : 4P, 3 位 : 3P, 4 位 : 2P, 5 位 : 1P)

鈴鹿市立図書館サービス方針の認知度

知っている (108 件) ・ 知らない (383 件) ・ 無回答 (48 件)

サービス・取組	関連する具体的な取組内容
1. 図書資料	A. 一般 B. 児童 C. 参考 D. 郷土資料 E. 大活字本 F. 点字・録音図書 G. 視聴覚資料 (DVD等) H. 雑誌 I. 新聞 J. その他
2. 運営内容	A. 開館時間 B. 開館日数 C. 貸出期間 D. 貸出冊数 E. 予約・リクエスト F. レファレンス (本の調査・相談) G. ホームページ・SNS (ツイッター等) の活用 H. 遠隔地向けサービス (配本／ふれあいライブラリー等) I. 職員の人材育成 J. 運営の民間への委託 K. その他
3. 開催する事業 (イベント) の対象者	A. 乳幼児 B. 児童 C. 青少年 (YA世代) D. 一般 E. 高齢者 F. 障がいのある方 G. 外国人 H. その他
4. 開催する事業 (イベント) の内容	A. おはなし会 B. 講演会 C. 読み聞かせ講座 D. ボランティア育成講座 E. C・D以外の講座 F. その他
5. 各団体等との連携	A. 保育所・幼稚園 B. 小・中学校 C. 高校 D. 高等教育機関 (大学・高等専門学校等) E. 他の文化施設 (公民館・考古博物館等) F. 県内の図書館 G. ボランティア団体 H. 市内企業 I. その他
6. 施設・設備の管理・改善	A. 駐車 (輪) 場 B. トイレ C. 空調設備 D. 各閲覧室 (書架・閲覧スペース等) E. 学習 (自習) スペース F. 休憩スペース G. 授乳室 H. その他
7. 特にない	

上位得点 20 件

	内容	ポイント数	件数		内容	ポイント数	件数
1 位	6-B	693	164	11 位	6-F	101	34
2 位	1-A	511	146	12 位	2-D	99	32
3 位	6-C	305	86	13 位	4-B	87	38
4 位	6-A	247	72	14 位	2-E	77	22
5 位	2-A	241	74	15 位	6-H	75	26
6 位	6-E	157	42	16 位	2-B	74	25
7 位	1-B	148	38	17 位	1-G	71	19
8 位	1-H	119	38	18 位	6-D	56	16
9 位	2-C	105	35	19 位	3-D	55	29
10 位	無回答等	103	103	20 位	3-E	53	24

回答総数

サービス・取組	ポイント数	件数	サービス・取組	ポイント数	件数
1. 図書資料	1030	295	5. 各団体等との連携	176	84
2. 運営内容	781	254	6. 施設・設備の管理・改善	1658	448
3. 開催する事業の対象者	219	99	7. 特にない	27	27
4. 開催する事業の内容	173	79	無回答等	103	103

図書館が優先して充実させるべきサービスや取組について、下記 7 ブロックのサービス・取組と、それに関連する具体的な取組内容について、優先順に選択し、順位ごとにポイント付けした結果を表しています。

(1 位 : 5 点, 2 位 : 4 点, 3 位 : 3 点, 4 位 : 2 点, 5 位 : 1 点)

江島分館

鈴鹿市立図書館サービス方針の認知度

知っている (21 件) ・ 知らない (143 件) ・ 無回答 (10 件)

サービス・取組	関連する具体的な取組内容
1. 図書資料	A. 一般 B. 児童 C. 参考 D. 郷土資料 E. 大活字本 F. 点字・録音図書 G. 視聴覚資料 (DVD 等) H. 雑誌 I. 新聞 J. その他
2. 運営内容	A. 開館時間 B. 開館日数 C. 貸出期間 D. 貸出冊数 E. 予約・リクエスト F. レファレンス (本の調査・相談) G. ホームページ・SNS (ツイッター等) の活用 H. 遠隔地向けサービス (配本／ふれあいライブラリー等) I. 職員の人材育成 J. 運営の民間への委託 K. その他
3. 開催する事業 (イベント) の対象者	A. 乳幼児 B. 児童 C. 青少年 (YA 世代) D. 一般 E. 高齢者 F. 障がいのある方 G. 外国人 H. その他
4. 開催する事業 (イベント) の内容	A. おはなし会 B. 講演会 C. 読み聞かせ講座 D. ボランティア育成講座 E. C・D 以外の講座 F. その他
5. 各団体等との連携	A. 保育所・幼稚園 B. 小・中学校 C. 高校 D. 高等教育機関 (大学・高等専門学校等) E. 他の文化施設 (公民館・考古博物館等) F. 県内の図書館 G. ボランティア団体 H. 市内企業 I. その他
6. 施設・設備の管理・改善	A. 駐車 (輪) 場 B. トイレ C. 空調設備 D. 各閲覧室 (書架・閲覧スペース等) E. 学習 (自習) スペース F. 休憩スペース G. 授乳室 H. その他
7. 特にない	

上位得点 20 件

	内容	ポイント数	件数		内容	ポイント数	件数
1 位	1-B	206	53	11 位	4-A	42	15
2 位	1-A	122	34	12 位	3-A	33	11
3 位	6-B	103	28	13 位	6-A	32	12
4 位	1-H	63	17	14 位	2-B	25	7
5 位	2-E	55	17	15 位	6-F	25	11
6 位	3-B	54	28	16 位	4-C	23	11
7 位	6-E	52	19	17 位	5-B	19	12
8 位	2-D	49	15	18 位	6-C	19	5
9 位	2-A	47	14	19 位	1-G	17	4
10 位	無回答等	46	46	20 位	1-J	13	3

回答総数

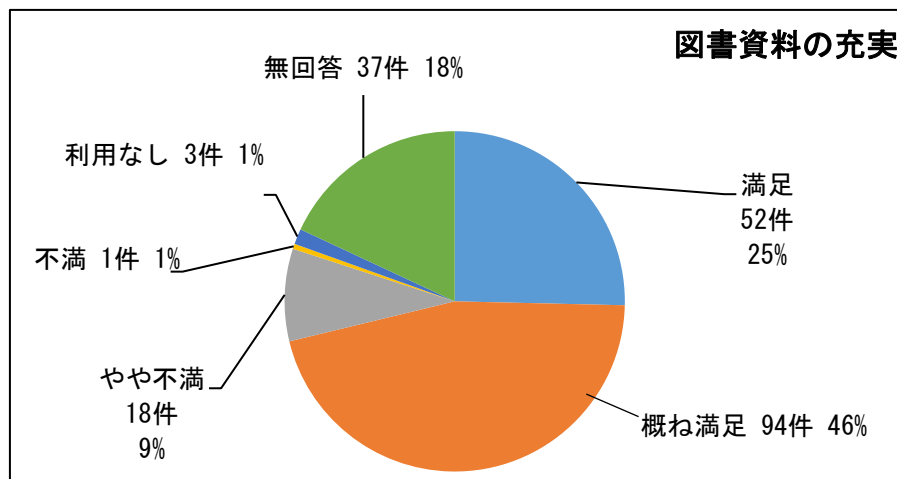
サービス・取組	ポイント数	件数	サービス・取組	ポイント数	件数
1. 図書資料	435	115	5. 各団体等との連携	49	32
2. 運営内容	219	70	6. 施設・設備の管理・改善	262	88
3. 開催する事業の対象者	102	48	7. 特にない	10	10
4. 開催する事業の内容	98	42	無回答等	46	46

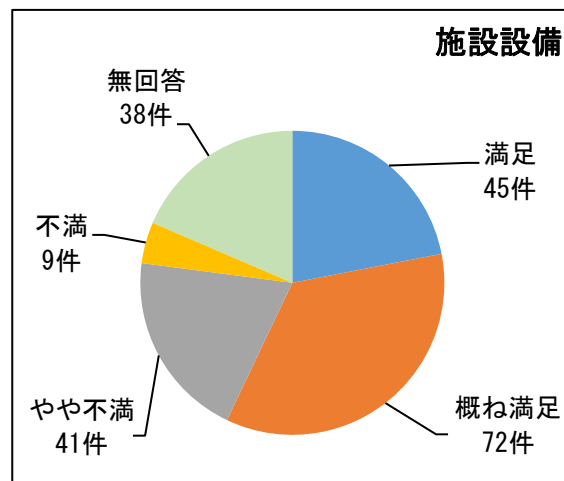
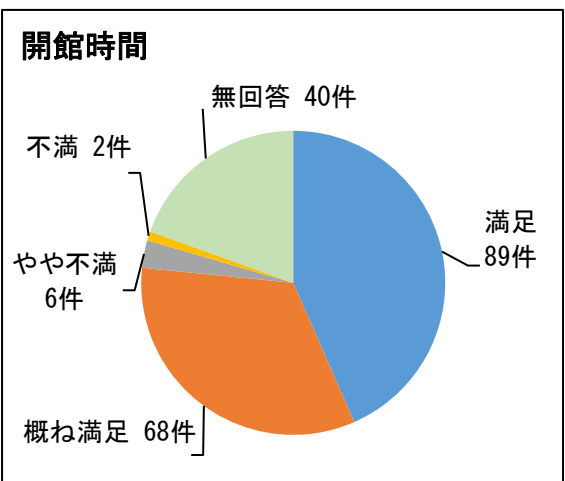
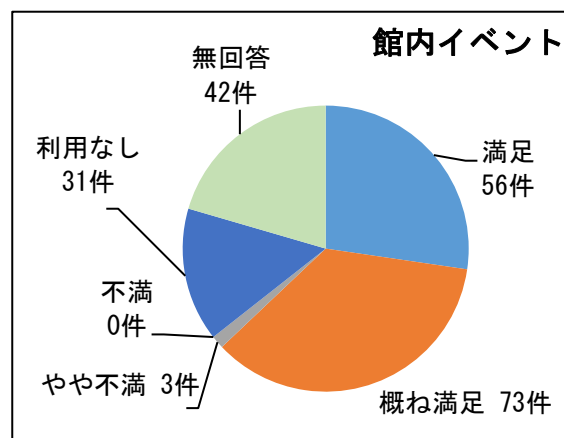
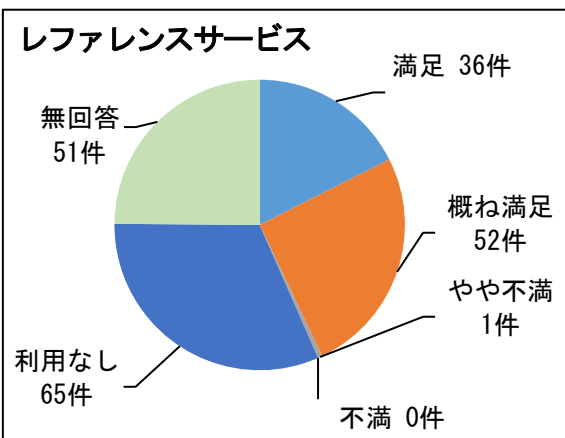
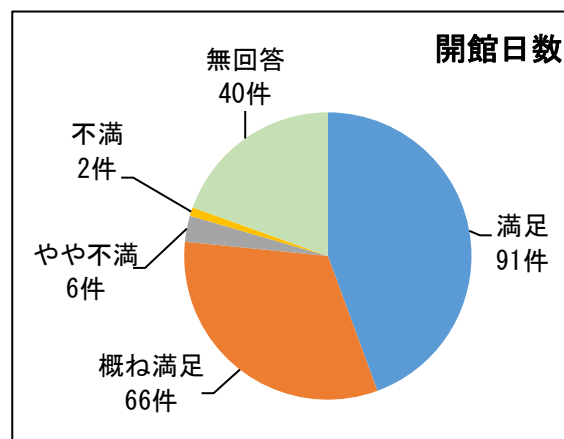
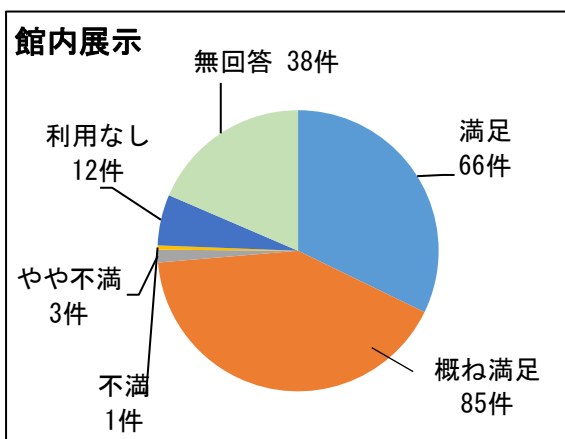
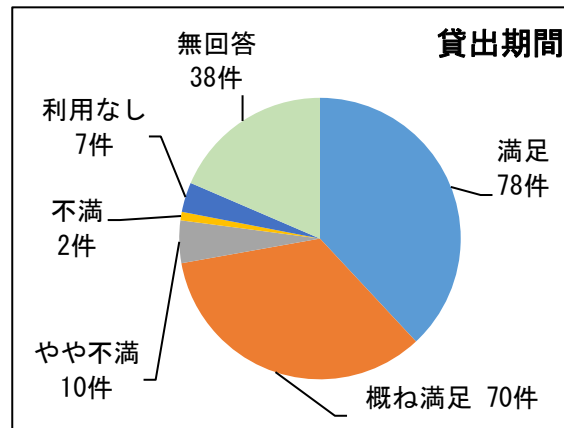
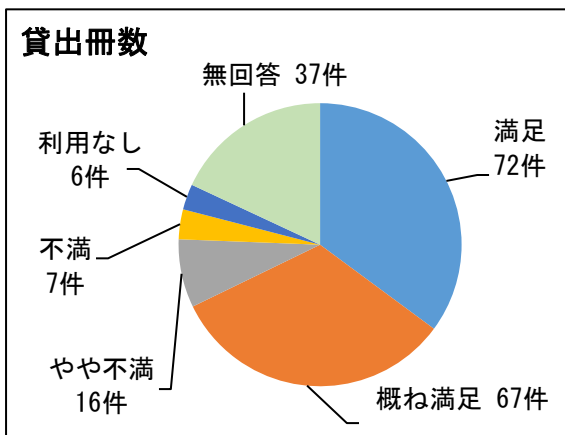
2 平成 30 年度鈴鹿市立図書館事業参加者アンケート結果

開催日	イベント名	場 所	人数 (男・女・無)
7/28	夏休み子ども映画会 (子どもシアター)	江島分館	27 (4・22・1)
8/1	夏休み子ども映画会	本館	40 (2・38)
8/2	夏休み子ども映画会	本館	54 (4・48・2)
8/8	夏休み手作り絵本教室	本館	18 (1・17)
8/9	夏休み手作り絵本教室	本館	16 (0・16)
8/20	おりがみ教室	江島分館	18 (1・17)
8/24	夏休みに図書館で本立てを作ろう	本館	16 (2・14)
8/31	夏休みに図書館で本立てを作ろう	本館	16 (3・13)
合 計			205 人

内容について		映 画		絵 本		おりがみ		本立て		合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	
	よかった	7	72	1	29	1	15	4	25	154
	ふつう	1	18	0	2	0	2	1	2	26
	よくなかった	0	2	0	1	0	0	0	1	4
	合計 (内無回答)	121 (21)		34 (1)		18		33 (複数1)		206 (22・複数1)

イベント情報取得方法		映 画		絵 本		おりがみ		本立て		合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	
	館内掲示	7	56	0	6	0	3	2	6	80
	図書館HP	0	2	0	1	0	0	0	2	5
	図書館ツイッター	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	広報	0	23	0	25	1	9	3	20	81
	市HP	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	知人	0	16	0	2	0	2	1	0	21
	その他・無回答	3	12	0	1	0	3	0	1	20
	合計 (内無回答)	124 (3・複数3)		36 (複数2)		18		35 (複数3)		213 (3・複数8)





3 配本・ふれあいライブラリー利用状況

配本		平成 25 年度末	平成 26 年度末	平成 27 年度末	平成 28 年度末	平成 29 年度末
配本	貸出人数（人）	1,330	1,348	1,279	1,405	1,325
	貸出冊数（冊）	3,920	3,896	3,630	4,108	4,093
	公民館配本全冊数（冊）	24,499	25,431	25,785	26,262	26,866
ふれあい ライブラリー	貸出人数（人）	1,067	1,065	1,011	1,111	1,211
	貸出冊数（冊）	2,214	2,308	2,412	2,874	3,026

公民館名	配 本			ふれあい ライブラリー		公民館名	配 本			ふれあい ライブラリー	
	冊数	貸出 人数	貸出 冊数	貸出 人数	貸出 冊数		冊数	貸出 人数	貸出 冊数	貸出 人数	貸出 冊数
国府	837	46	141	4	8	箕田	887	37	97	50	123
住吉	903	56	140	54	103	玉垣	1,359	30	103	49	142
庄野	903	32	63	18	26	ふれあい	1,453	119	400	0	0
加佐登	676	10	22	56	205	若松	1,208	61	208	12	28
牧田	630	61	242	52	117	神戸	354	16	51	0	0
清和	796	18	46	1	2	栄	949	94	266	30	82
石薬師	384	2	2	41	69	郡山	1,371	33	118	27	83
白子	1,952	43	122	83	297	天名	2,210	46	126	4	9
愛宕	770	53	183	52	146	合川	433	102	357	23	37
旭が丘	1,061	63	130	64	161	井田川	315	66	228	5	15
鼓ヶ浦	946	19	50	190	448	久間田	687	20	68	4	5
稻生	460	66	189	124	301	椿	313	2	8	0	0
飯野	331	12	21	0	0	深伊沢	358	23	65	173	416
河曲	723	40	108	1	2	鈴峰	861	6	17	6	13
一ノ宮	346	51	202	6	15	庄内	1,548	39	115	54	115
長太	842	59	205	28	58	合計	26,866	1,325	4,093	1,211	3,026



=用語解説（50 音順）=

1 基本収集方針・購入図書選書基準

鈴鹿市立図書館が所蔵する図書資料の収集について、基本的な資料選択のための方針、基準を定めたもの。目的、意義、サービス対象ごとの収集範囲などを明確に定めたもの。

2 雑誌スポンサー制度

市内に事業所などを有する企業、商店、団体、個人事業主などに、図書館が購入する雑誌の年間費用を負担いただき、企業などに地域貢献の機会を提供する制度のこと。

3 鈴鹿市立図書館協議会

図書館法第 14 条に基づき、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関のこと。

4 鈴鹿地区図書館相互協力会議

鈴鹿市に所在する公共図書館、大学図書館及び学校図書館等が、館種を越えて相互協力の進展を図ることを目的とし、この目的に賛同する図書館で組織します。会議では、所蔵資料に関する情報交換や相互協力の推進に関する調査研究などを行います。

5 相互貸借

図書館の相互協力のひとつで、利用者の求めに応じて、他自治体の図書館との間で図書資料の貸借をすること。

6 大活字本

大きな活字で印刷された図書資料のこと。高齢者の方には人気があり、拡大図書、大型活字本とも呼ばれています。

7 団体貸出

学校やボランティア団体などに個人より貸出冊数を多く、また長期間貸し出すことができるサービスのこと。

8 配本

市内公民館（30 か所）、ふれあいセンター及び農村環境改善センターの図書室又は図書コーナーを、地域における図書館のサービスポイントとして位置づけ、図書館の図書資料を配架し、地域の利用に供すること。図書資料は一定期間ごとに入れ替えを行っています。

（社会教育法第 23 条において、公民館の事業のひとつとして図書資料を備えその利用を図ることが定められています。）

9 パスファインダー

特定の主題に関する情報資源や探索方法を紹介、提供するツールのこと。それぞれの図書館のコレクションを対象に作成されています。

10 PDCAサイクル

事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法のこと。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の 4 段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善します。

11 ふれあいライブラリー

図書館司書が市内公民館（30 か所）とふれあいセンターを定期的に巡回し、読書相談や新刊案内、リクエスト受付・貸出などを行う地域サービスのこと。

12 リサイクル（除籍資料）

リサイクル資料として、再活用が可能な除籍資料を、市施設や団体及び市民に提供して、有効活用を図ること。

13 レファレンスサービス

図書館利用者が、調査・研究のために必要な図書資料及び情報を求めた場合に図書館職員が図書館資料の検索を手助けし、図書資料を提供、あるいは回答を与えるなど利用者と図書資料を結び付けるサービスのこと。参考業務とも呼ばれています。

14 録音図書（DAISY・デージー）

視覚障がい者や印刷物を読むことが困難な人のためにカセットに代わるデジタル録音図書の国際標準規格のこと。Digital Accessible Information System の略。音声版は、CD-ROM に世界各国の点字図書館が合意した規格により音声情報を記録したもので、音質の劣化がなく、長時間の録音と検索が可能です。主に視覚障がい者のためのデジタル録音図書の作成、及び識字障がい者・学習障がい者などのためのデジタルマルチメディア図書の作成に使われています。この規格に基づいて作られた録音図書は DAISY 図書、DAISY 録音図書と呼ばれています。

＝鈴鹿市立図書館協議会委員＝

(任期：平成 30 年 6 月～1 年間)

氏 名	所 属 等
衣 斐 弘 行	学識経験者
林 佳代子	家庭教育の向上に資する活動者
森 川 克 美	社会教育関係者
石 井 育 子	社会教育関係者
井 上 哲 雄	社会教育関係者
木 村 由美子	社会教育関係者
桑 原 道 代	社会教育関係者
藤 田 時 子	学校教育関係者
加 藤 稔 明	学校教育関係者



鈴鹿市立図書館サービス推進方針

2019 年 3 月発行

編集 鈴鹿市文化スポーツ部 図書館

〒513-0802

鈴鹿市飯野寺家町 812 番地

電話 059-382-0347